

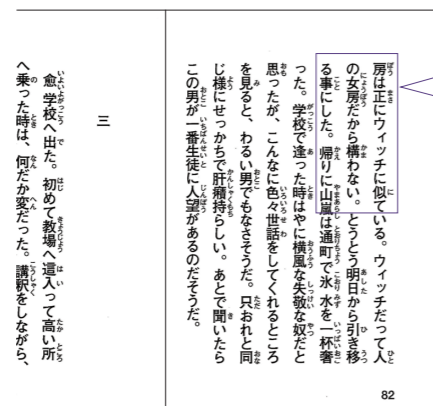


目の相談室より No.13

ご存知ですか？
大活字本のご紹介

今回ご紹介する「大活字本」は文字を大きくすることで活字を見やすくした本です。(株)大活字から出版されている大活字文庫は、A5サイズで文字の大きさは22ポイント、字体はゴシック体です。平成23年2月現在208タイトルあり、村上春樹著「1Q84」や武良布枝著「ゲゲゲの女房」のような話題の本もあります。「1Q84」は白黒反転で作られています。白黒反転本は黒い紙に白い文字で書かれているため紙からの反射が抑えられ文字をはっきり見ることができます。文字が大きくなると当然のことですが1ページの文字数が少なくなってしまう。そのため通常の本の1冊分が大活字本では約3冊に分割されています。

今回ご紹介した大活字本は、お茶の水・井上眼科クリニック19階総合受付に見本が展示されています。興味をお持ちの方は



是非お立ち寄りください。購入については下記の「誰でも読書館」へお問い合わせください。誰でも読書館では大活字本以外に見えにくい方が読み書きする際の便利グッズも取り扱っています。

『誰でも読書館』の連絡先

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-3 富山房ビル6階
NPO法人大活字普及協会 誰でも読書館
電話: 03-3259-2200
E-mail: dream@daikatsuji.co.jp

房は正にウィッチに似て
の女房だから構わない。
る事にした。帰りに山嵐

実物大



入局医師の紹介



井上眼科病院
山上 明子(やまがみ あきこ)医師

平成23年1月入局しました。東京都出身です。神経眼科外来と一般外来を担当します。専門分野だけでなく幅広い分野の勉強をしたいと思っています。よろしく願いいたします。



近視矯正手術 (LASIK) 説明会

LASIKに関心をお持ちの方、実際に検査・診察を受ける前に説明を聞いてみたいとお思の方は、お気軽にご参加ください。ご希望の方はお電話でお申し込みください。

フリーダイヤル 0120-48-4930

■日時: 平成23年4月12日・26日 / 5月17日 / 6月7日・21日
18:30より1時間程度
■場所: 井上眼科病院1階 ■費用: 無料

「目の歴史資料館」と「入院案内」を移設しました

これまで井上眼科病院内にありました「目の歴史資料館」の展示をお茶の水・井上眼科クリニック20階第5ラウンジに移設しました。

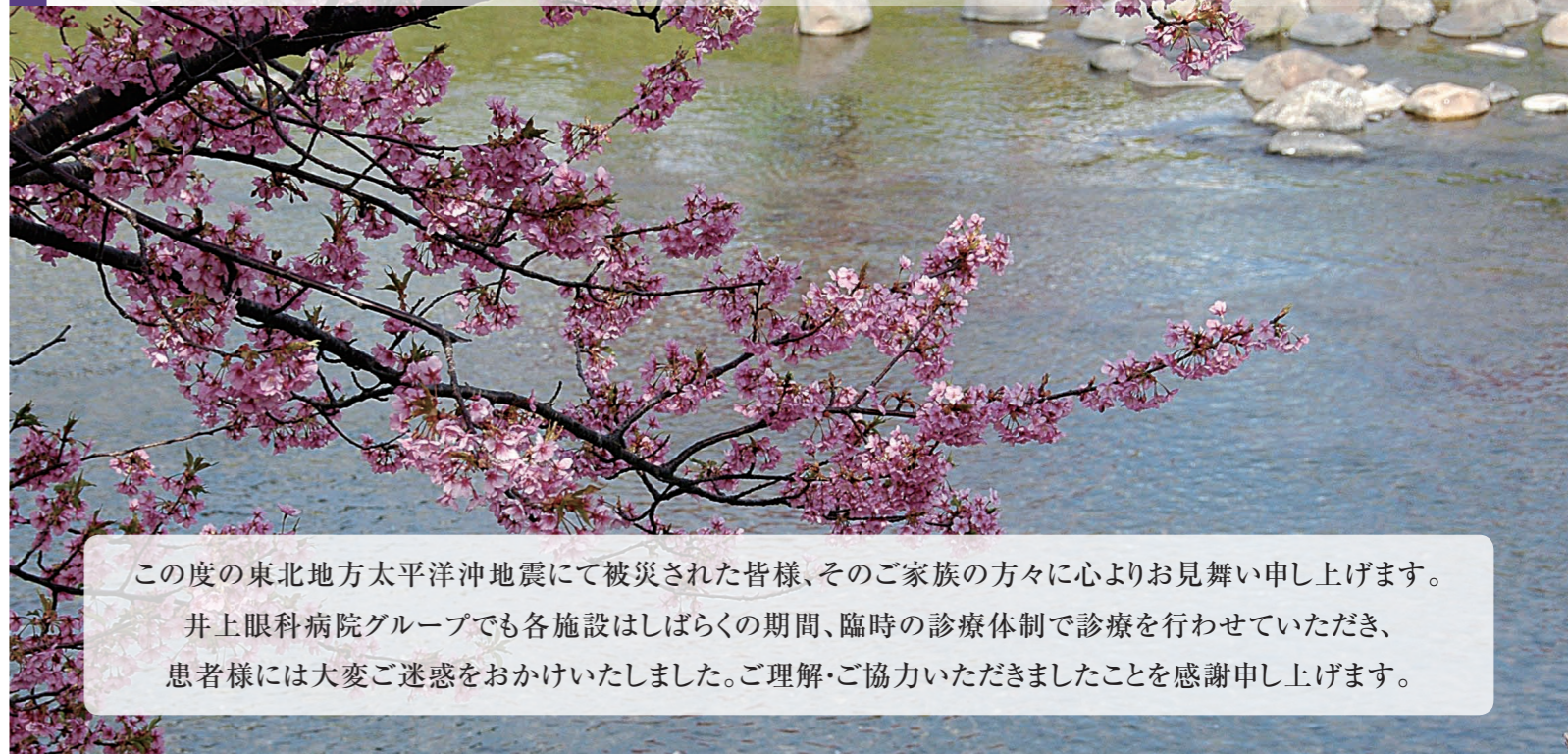
「目の歴史資料館」は昭和56年に創立百周年記念史を編纂した際に、取材・収集した資料を展示しております。日本の

眼科の曙、東大眼科の創設に携わった初代院長井上達也の業績と、明治時代の眼科学の実状を知る貴重な資料です。

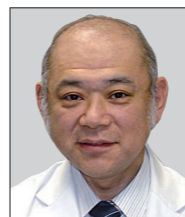
多くの患者様にご覧いただけますよう外来棟に展示いたしましたので、ご来院の際には是非お立ち寄りください。また、手術をされる患者様へご説明を行

う「入院案内」のコーナーは、お茶の水・井上眼科クリニックから井上眼科病院内へ移設いたしました。

実際に手術や入院をされる場所であらかじめ事前に説明させていただくことで、患者様の心配やご負担を多少なりとも軽減できればと考えております。



この度の東北地方太平洋沖地震にて被災された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。井上眼科病院グループでも各施設はしばらくの間、臨時の診療体制で診療を行わせていただき、患者様には大変ご迷惑をおかけいたしました。ご理解・ご協力いただきましたことを感謝申し上げます。



井上眼科病院の
130年の伝統と将来

井上眼科病院 院長 若倉 雅登

当院が初代院長井上達也によって神田駿河台に設立されたのは明治十四年(1881)、数えて今年が創立130周年となる。4月23日には、記念市民公開講座が、5月22日には式典が開催される。

達也は日本人として初めて東大眼科を主宰した学者で、優れた臨床家であった。当時、東大病院はまだ整備されておらず、西洋医学としての眼科臨床を大学では十分できなかったため、自身で私立の眼科病院を創立した。ドイツ留学からの帰国後は、臨床に、教育に、著述にと大いに活躍、眼科界の重鎮となりつつあった明治28年、乗馬中の事故で48歳の生涯を閉じた。その後、阿部玄四郎、井上達七郎(達也の養子)、内藤達、石黒吉三郎、井上誠夫(のぶお、達也の長女と結婚)と5人院長が変わり、明治42年、達也の次男達二が第7代院長に就任し

た。達二は日露戦争などで頭部に銃創を負った多数の兵隊の銃創位置を分析し、視野検査結果とを対比することで後頭葉の視覚中枢の地図を世界に先駆けて作成したことで国際的にも有名である。彼は昭和38年までの54年にわたり院長職を務め、井上眼科病院の名声を高めた。

第8代院長は達二の長男正澄であった。そして、東大出身の治郎(達二の長女の次男)が昭和56年、現在もある4階建て新病院開院とともに副院長から第9代院長に就任、ここからの発展はすさまじく、西葛西・井上眼科病院も設立した。平成14年、私に第10代院長を命じたあとも理事長として病院の充実、拡大に努め、同18年にはお茶の水の外来部門を統合して「お茶の水・井上眼科クリニック」を新設し、長男の賢治(現理事長)を院長に就任させた。一口に130周年というがこのよう

に10人の院長が誕生しており、それぞれ重要な仕事をなし、重厚な歴史を刻んできたのである。現代がその歴史の上にあることを我々はいち忘れがちだが、改めて歴史を辿ってみるのは意味のあることだ。

私は今、当院創立から10年余り経ったころに一人の眼科女医「右田朝子」を育てていることに大きな関心をもち、フィクション仕立ての原稿を300枚ほど書いたところである。当院の歴史資料館の資料も大いに役立った。出版できれば、この男尊女卑の時代に苦難の道を歩んだ日本初の眼科女医の生涯を、皆様に紹介できるであろう。

井上眼科病院のこの輝かしい足跡が、日本の眼科界の中で、私立眼科専門病院として大きな役割を果たしていることをとても誇らしく思う。これから50年、100年と質、量ともにさらなる発展をしてもらいたいと、心から願っている。



第7代院長 井上 達二



第8代院長 井上 正澄



第9代院長 井上 治郎



第10代院長 若倉 雅登



理事長 井上 賢治

1909	井上達二、欧州留学より帰国、第7代院長に就任。
1911	井上達二、独語論文「視覚中枢の銃砲創による視力障害」で学位を取得。(この論文は2000年イギリスのグリック・スタインらにより英訳され、世界的に評価される)
1916	わが国最初の「図画試視力表」を作成。
1923	関東大震災、井上眼科病院も焼失。焼け残った病院で仮病院を開設し、多数の患者に対応。
1929	地下1階、地上3階建ての鉄筋コンクリート建て新病院が完成。
1945	東京大空襲。千人にも及ぶ患者を治療。
1963	達二の長男、井上正澄が第8代院長に就任。
1965	井上眼科病院OBの医局員により、「井上眼科同門会」結成。「同門会会誌」発行。GHQの病院「東京アーミー・ホスピタル」の眼科顧問に就任し、米軍関係者とともに、目の治療にあたる。
1966	井上治郎、シカゴ大学眼科研究所講師として招聘され渡米。
1971	医療法人設立認可。医療法人社団 済安堂井上眼科病院と改称。井上治郎、帝京大学医学部助教授に就任。
1972	井上治郎、日本眼科学会総会にて厚生省ベッチェット病研究班として実態調査を発表。
1981	井上治郎が第9代院長および理事長に就任。井上眼科病院創立100年を迎え、地下1階、地上4階に病院を改装。「井上眼科病院百年史」を刊行
1991	西葛西・井上眼科病院開設。
1993	検診と治療を同時に行う、「外神田診療所」開設。駿河台診療所・コンタクトレンズ外来開設。
1999	屈折矯正手術を主体に行う「お茶の水・眼科クリニック」開設。駿河台診療所にロービジョンケアシステム「目の相談室」設置。
2002	若倉雅登(北里大学医学部助教授)、第10代院長に就任。
2003	井上眼科病院付属「お茶の水・眼科クリニック」に角膜外来と緑内障センター開設。井上治郎の長男井上賢治が緑内障センター長に就任。
2004	井上眼科病院が(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定を取得。コンタクト外来として西葛西井上眼科クリニック開設。西葛西井上眼科こどもクリニック開設。
2006	新お茶の水ビルに「お茶の水・井上眼科クリニック」開院。井上賢治が院長に就任し、外来部門を分離・統合。ユニバーサルデザインを採用。西葛西・井上眼科病院が(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定を取得。井上眼科病院院長 若倉雅登が会長を務め、第16回国際神経眼科学会(INOS)を開催。
2008	井上賢治、医療法人社団 済安堂 井上眼科病院理事長に就任。
2009	井上眼科病院が第3回「日本ファシリタム・ネジメント賞」を受賞。
2010	西葛西・井上眼科クリニックで「オルソケラトロジー」を導入。

年表

1848	井上眼科病院創設者井上達也、徳島県板野郡松坂村矢武にて出生。
1876	東京医学学校の眼科掛(医学部眼科教室の初代講座主任)となる。
1878	東京大学医学部別課生の教授兼任、医学部通学生眼科臨床教授を担当。初の眼科専門書「井上眼療書 巻之一 撰生篇」を出版。
1880	東京大学医学部助教授就任。
1881	神田駿河台東紅梅町11番地に「済安堂医院」開業。「井上眼科病院」の創設。翌年、東大を辞し、民間眼科病院として患者の治療にあたる。
1884	研究論文「角膜切開法」が独仏眼科の専門誌に紹介され、世界的評価を得る。「井上式白内障手術法の開発」、日本最初の「防腐的前房洗浄法」、「井上式試視力表」の完成。
1885	独仏に留学、ザットレル、ランドルトなど欧州一流眼科学者と共同研究と交流。
1887	「日本眼療書 白内障手術篇(完)」出版。
1888	わが国最初の眼科研究団体「井上眼科研究会」発足。
1889	最初の眼科専門誌「井上眼科研究会報告」発刊。
1892	「井上眼科病院」と改称。
1895	井上達也、落馬事故のため、急逝、享年48歳。
1898	第3代院長 井上達七郎を中心に、研究団体「井上眼科同窓会」結成。「井上眼科同窓会会報」を発刊。



創設者 井上 達也



井上眼科病院・クリニックだより

ロービジョン外来のご紹介

西葛西・井上眼科病院 鶴岡 三恵子

昨年9月よりお茶の水・井上眼科病院にてロービジョン外来が開設、担当させていただくことになりました。今年の1月より月2回の予約外来を行っております。

ロービジョンとはLow visionから発生しており、直訳すれば低視覚となります。世界保健機関(WHO)は、両眼に矯正眼鏡を装着して視力を測り、視力0.05以上0.3未満をロービジョンと定義しています。しかし、視力だけでロービジョンは判定できません。視野や羞明も重要なファクターとなります。日本には

ロービジョンの明確な定義はなく、不便さを感じればロービジョンケアの対象者と考えています。

日本には約31万人の視覚障害者があり(平成18年現在)、これは障害者全体の8.9%にあたります。視覚障害の手帳取得の有無によらず、目が悪いために、実際に字を書いたり、移動に支障がある人は約100万人と予想されます。この多くが高齢者に多い中途視覚障害です。

ロービジョン外来では、患者さんが具体的に何で困っているのかを把握し、現在の視機能を評価します。そして、必要に応じ、視覚障害者手帳の申請および等級変更手続きを行います。また、院内にある「目の相談室」と連携し、ロー

ビジョンの患者さんの困っていることを解決できる補助具を検討します。

例えば、視野に5文字を見ることができれば読書速度はかなり改善します。30cmのモニターに5cm角の文字が見られれば文字活用は充分にできると考えられ、これが可能な矯正視力は0.02です。

社会的、経済的自立を要する患者さんに関しては、ソーシャルワーカー・患者会と連携をとることで、生活、歩行、職業リハビリテーションの紹介を行います。

患者様への診療内容がさらに充実したものとなるように頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



西葛西・井上眼科病院だより

西葛西・井上眼科病院 設立20周年



西葛西・井上眼科病院 院長

宮永 嘉隆

西葛西・井上眼科病院は今年11月設立20周年を迎えます。考えてみますと病院設立の理念であった地域医療への貢献、最新の眼科手術のセンターとしての担い手であることについて、一応の評価が得られたと思っています。しっかりと地域医療に根ざし、高齢化社会への貢献、また、学校など教育関係への貢献も

含めて地域の方々が安心して生活出来る側面の一つを担っているであろうことにも誇りを感じています。一方で、眼科手術は日進月歩の感があります。眼底の病気である加齢黄斑変性症一つをとっても、この10年手術からレーザー治療さらに薬物による治療と大きく変わって来ました。私共の病院は眼科手術における先端医療を展開する我国でも有数の病院です。大学病院にあるような最先端の研究を基とした医療ではありませんが、現在行われている眼科手術に対する哲学とスキルでは決して引けを取ってはいないと思います。したがって、ここ西葛西・井上眼科病院は医療事情や行政においても大変厳しい時代に直面して

いますが、医の根源である愛に徹した医療を実践しています。具体的には待ち時間の短縮、病気に対する十分な説明と治療、そして、心あたたまる看護です。職員全員が患者様第一主義の理念に向って頑張っています。それでも時として患者様からクレームをいただくこともあります。そんな時は皆でよく考え反省をしたりもします。また、時に患者様に大変喜んでいただき感謝の言葉をいただくこともあります。涙が出るほど嬉しく心が和む一瞬です。

さて、6月上旬には恒例の第40回眼の相談会を、加齢による眼底疾患をテーマに開催予定です。詳細は後日お知らせ申し上げます。御期待ください。

創立130周年記念 市民公開講座(平成23年4月23日)
【眼のトラブル こんなときどうする?】
 一眼のトラブルとの上手な付き合い方
 ※講座の詳細については病院内掲示やちらし、ホームページをご覧ください。

日時:平成23年4月23日(土)14:00~16:30
 会場:ベルサール秋葉原
 東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 2Fホール
 最寄駅JR【秋葉原駅】電氣街口より徒歩4分
 日比谷線【秋葉原駅】2番出口より徒歩7分
 つくばエクスプレス【秋葉原駅】A3出口より徒歩5分
 ※定員になり次第締切とさせていただきます。

参加費無料
 開催日時をご確認の上、事前に当院受付にお申し出ください。